

令和3年度三田市高校生議会 質問・答弁内容

議員名 (高校)	質問テーマ・内容	答弁内容
<p>⑬ 畑 亮兵(三田祥雲館)</p>	<p>(再質問)</p> <p>平和教育は、異なる世代がともに学ぶことで新たな考えを知る機会となり、世代間の差が埋まることが期待できます。しかし、学校の授業では他世代との話し合いが難しいため、地域団体や市が授業以外のイベントを企画し、世代間交流の機会を作ることで、先ほどの効果が生まれると考えます。</p> <p>平和教育のイベントとして、平和を考える市民の集いとは別の場、機会を設けることを検討するとのことでしたが、具体的にどのような内容で行おうとお考えですか。</p> <p>以上のことにつきまして、市のお考えをお聞かせください。</p>	<p>(再答弁)</p> <p>当然、子ども達は、義務教育として小学校1年生から中学校3年生まで、子ども達だけで学んでおり、畑議員もご経験されたと思いますが、学校の中には地域の人をはじめ、いろいろな方が教育に参加していただいている状況です。地域の人達をお招きして平和について考えるといったことも学習のひとつとして現在も取り組んでいることですが、それを、畑議員ご指摘のとおり、発達段階で系統的に取り組めるように考えていく必要があります。また、答弁でもお答えしましたが、人権問題に取り組んでおられる市民の皆さまが、直接ご参加される講座等もございます。そのような講座の中で様々な世代の方を対象とした平和学習や Peace of cake などのゲームも使った中で行うことも可能だと思いますので、そのようなことも情報提供する中で実施出来たらと良いと考えています。</p>